

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和05年06月20日(火)

事務事業		防災機能強化事業		担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	7321	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	災害対策基本法、自主防災組織設置要綱					
	小項目	1	災害に強い防災体制の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		防災対策の充実のため、地域住民を対象として、自主防災会の設立、育成を図る。また、総合防災訓練や自主防災会の訓練等を通じて、防災意識及び防災知識の向上を図る。								
目的 ※何のために		市民及び地域の防災力向上のため								
対象 ※誰・何を対象に		市民、自主防災組織、災害協定締結の関係機関等								
手段 ※どのように		自主防災組織の設立、育成及び防災訓練などを実施するほか、地域防災指導員と防災士による防災啓発活動等を行う								
成果 ※何を求めるか		市民の防災意識及び防災知識の向上及び地域の防災力向上								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 関係団体 )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	11	災害対策費	防災機能強化事業	6,543,626
本事業の 主な業務		・ 自主防災組織の設立・育成					・			
		・ 総合防災訓練の実施					・			
		・ 職員向け研修の実施					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		自主防災組織の育成 総合防災訓練	自主防災組織の育成 総合防災訓練	自主防災組織の育成 総合防災訓練	自主防災組織の育成 総合防災訓練 職員研修の実施 防災啓発活動の実施 防災士の育成		
事業費	予算(現額)	9,193,000	7,515,000	10,813,000	14,247,000		
	決算額	8,033,973	6,543,626	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	83,000	26,000	115,000	170,000	
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	7,950,973	6,517,626	10,698,000	14,077,000	
人件費	従事職員数(人)	1.53	1.50	1.50	1.50		
	人件費相当試算※	12,040,423.00	12,015,248.00	12,541,350.00	12,541,350.00		
総事業費試算		20,074,396	18,558,874	23,354,350	26,788,350		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	防災対策啓発事業開催数（イ ツモ防災、研修等）	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値		12.00	16.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			啓発事業、研修会の開催予定数/啓発事業、研修会等						
	実績値の算出式									
活動指標 2	自主防災組織結成と活動の説明をした自治会数	目標値	自治 会	199.00	199.00	198.00	198.00	198.00	198.00	
		実績値		199.00	199.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年1回以上、自治会に対して説明することを目標とする / 説明した自治会数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	防災対策啓発事業参加者数	目標値	人							
		実績値		834.00	993.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			天候などに左右されるため目標値を設定できないため / 啓発事業、研修会等参加者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	自主防災組織結成率	目標値	%	87.00	84.00	85.00	86.00	87.00	88.00	
		実績値		82.98	84.22					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全自治会のうち自主防災組織を設立している自治会に属する世帯数の割合						
	実績値の算出式									
成果指標 3	訓練等を実施した自主防災組織数	目標値	自治 会	75.00	63.00	66.00	69.00	72.00	75.00	
		実績値		96.00	137.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年1回以上会議や訓練などの活動をしている自主防災組織数						
	実績値の算出式									
成果指標 4	自主防災組織の訓練参加者数	目標値	人							
		実績値		1,107.00	3,260.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			実績 / 自主防災組織の訓練参加者数						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	自主防災会等の防災講座等において、イツモ防災講座を実施し、目標値を達成した。また、全ての自治会に対して自主防災会の結成促進、訓練の実施について説明することが出来たことからA評価とする。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	自主防災組織結成率は目標値を達成し、訓練等を実施した自主防災組織数も目標値を達成しているほか、その他の成果指標も増加していることからA評価とする。	
			評価者	防災係長 小川 和成

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	令和5年度は、市の公式ラインによる防災情報の発信を行う体制を構築し、災害時の情報伝達手段を拡充した。	
			評価者	防災係長 小川 和成

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、自主防災会等交流会の総会と、防災講演会を3年ぶりに文化会館で実施し、自助・共助の重要性について改めて周知することで、自主防災組織の活動の活性化を図る。
達成状況及び その効果	令和5年7月に自主防災会等交流会の総会と防災講演会を実施し、自助・共助の重要性について周知するとともに、交流会事業として、自治会の支会単位の訓練や、地域リーダー講座などを実施した。自主防災会・自治会と連携しそれらの事業を実施したことで、成果指標が向上した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	防災機能強化事業	担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	7321
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		いずれの成果指標も前年度の数値から増加し、目標値も達成していることから、引き続き自主防災会等交流会を通じて、様々な防災啓発活動を行う。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	総務部次長兼総務防災課長 村尾 厚彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	自主防災会等交流会の事業として、自主防災組織の活動を精力的に行い様々な賞を受賞されている講師による防災講演会を実施するとともに、昨年度に引き続き、自治会の支会単位の合同防災訓練を実施するなどし、地域防災力の向上に努める。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和4年度から自治会の支会単位の合同防災訓練を、毎年4支会ずつ、3年間で12支会実施する計画で実施しているが、令和7年度は過去3年間の課題や教訓等を踏まえ、より実践的な訓練を検討する必要がある。 また、本市において、防災士養成研修講座や防災士試験を実施することで、防災士の資格取得者をより一層増加させるとともに、（仮称）防災士連絡会を設置し、研修や訓練等を行うことで、防災士のスキルアップを図る。

8. 評価指標グラフ

